

工業団地分譲益で建設費

小川・嵐山―C新設に暗雲

「嵐山花見台」申し込み不振

関越自動車道に新設予定の小川・嵐山インターチェンジの建設費が約100億円に達し、埼玉建設費が苦境に陥り、事業主となる国土建設公社は、嵐山花見台に建設する嵐山花見台工業団地一帯を分譲して、建設費の一部を捻出する計画が持ち込まれた。しかし、不況で同団地の分譲申し込みが不況なため、公社が持つ7区画への分譲申し込みは計7区画のうち、既に1区画の分譲が完了している。計画は、今年11月の分譲受け付けに実施が中止された企業は約六

一慮 埼玉県、苦慮

嵐山花見台工業団地特別分譲区画(四十五区画)百十九万四千三百平方メートルを、国土建設公社が計画的に八八年分、計百八十一社の間にわたって分譲し、今年一月の分譲受け付けに実施が中止された企業は約六



関越自動車道 インターチェンジ 本当にできますか。

嵐山町の法人税収入を増やす目的の花見台工業団地です。しかし、埼玉土曜会談合事件の一つでした。花見台工業団地と関越自動車道インターチェンジは一体となって開発計画が進められました。地元では、開発にともなう生態系破壊、騒音、環境悪化、移転問題があります。住民にとって必要な開発なのか、建設会社のための公共事業ではなかったかたちもどって考える必要があります。

分の四十五社に建設費を分けて、嵐山町の法人税収入を増やす目的の花見台工業団地です。しかし、埼玉土曜会談合事件の一つでした。花見台工業団地と関越自動車道インターチェンジは一体となって開発計画が進められました。地元では、開発にともなう生態系破壊、騒音、環境悪化、移転問題があります。住民にとって必要な開発なのか、建設会社のための公共事業ではなかったかたちもどって考える必要があります。

計て面積の倍増も一〇四倍に達した二倍を越える建設費が、国土建設公社は中小企業中心で、五割程度の小規模な企業に建設費を割り、申し込みが激しくなっている。事業費は約四七・五兆円を予定している。事業費は約四七・五兆円を予定している。

嵐山町はどう変わっていくのか

バブルのはじけた後、役場のつくった青写真の通りに事業が進むでしょうか。

役場庁舎は

役場庁舎の設計プランは来年3月までにほとんど終了する予定です。設計業者は石本建築事務所。設計委託料は二四三〇万円です。選定された理由は、設計プランが低層の建築であったこと等、これからの問題。

- 役場庁舎への進入路をどこにするか。
- 住民の負担を少なくする財政計画を。

役場庁舎建設審議会委員は、三〇名が委員として選任されました。残念な事に住民からの公募はありませんでした。女性たった五名です。



現代のアゴラ―情報発信とコミュニケーションの場

嵐山町総合進行計画後期基本計画及び国土利用計画策定調査を業者に委託します。委託料は本年度は六〇〇万円です。なぜ、急に第三次総合計画の見直しを始めるのか。公共用地の位置が決定。また関越自動車道インターチェンジの位置の決定。インターチェンジ接続道路が決定。それに伴う環境悪化の見直しが必要。国土利用計画の見直しをする調査なので、嵐山の計画に大きな変化を予定していると推測します。住民意識調査をし、公聴会を予定しています。これ以上の開発を許さないようしたいものです。